

日 時 平成20年11月30日 午前11時45分キックオフ (快晴)

会 場 綾町サイクリングロードグラウンド

相 手 ラ・モーナ

結 果 2-3 (2-1、0-2)

得点者 渡邊、黒田

内 容 息切れ、。

今節はリーグ最終戦。相手はラ・モーナ。今期のラ・モーナはここまで1勝。普通に戦えば勝てる相手だった。しかし、結果は、来期への課題の残る試合で2-3の敗戦。グラウンド状態が悪かったものの、それなりのプレーで、全体を通じてボールを支配した。先制点と追加点で、前半終了間際まで2-0。楽勝ペースかと思われたが、落とし穴があった、。

(前半)

3分：大介シュートはずれる。

5分：右サイドを抜けたマッちょ越智からセンタリングが中央にあがったものの決めきれず。

7分：左からのセンタリングにボンバー谷口のヘディングが炸裂するもののバーの上！

12分：左からのセンタリングに黒田のヘディングが炸裂するもののゴール枠をはずれる。

23分：マッちょ越智からのセンタリングを拾った大介のラブラブシュートが愛の放物線を描き、ゴール右隅でバラの花を咲かせる(1-0)。

(注：マッちょ越智と大介がラブラブ、ではありません。)

25分：ゴール前の肉弾戦を制したマッちょ越智からのこぼれ球に素早く反応した黒田が「ちゃっかりゴール」で2-0。

27分：相手FKからゴール前混戦で不幸にもオウンゴール。

(後半)

2分：カウンターからGK谷之木が抜かれてシュートされたが、工藤が体を呈してガード。

10分：フリーでゴール前でGKと1対1となった黒田がはずす。

11分：同じくフリーでGKと1対1の大介のシュートは相手GK正面。

21分：カウンターで左サイドを突破され、センタリングをダイレクトで決められ2-2。
ロスタイム：同じパターンで決められ2-3。

攻めてるけど点が入らない。守るべきところで守りきれない。5勝しての安堵感からか、声の掛け合いも余りなく、最悪の試合展開は必然的だったかもしれない。。

1勝できるのか？勝ち点1が取れるのか？そんな感じで望んだリーグ前半戦のような必死さが無いと、来年度は苦しいと思います、厳しいようですが、。

来年度への課題、。セットプレー特にコーナーキックを何パターンか持つ、味方スローインからの攻撃、バランスの取れたポジショニング、相手2列目の裏への飛び出しに対するディフェンス、マークの徹底等色々ありますが、それらは徐々に練習で身につけるとして、まずは夜の作戦会議を増やすことが重要と思われます！

参加者

<先発>

FW (黒田、渡邊)

MF (野田、渡部、藤田、越智)

DF (工藤、久保、谷口、藤山)

GK (谷之木)

監督等 日浦、日高夫妻+ポチ？、高妻

<交代>

DF (久保) 後半 (藤山に代わって出場)

MF (戸田) 後半10分 (野田に代わって出場)